

「庭園に息づく音風景の世界」

日時：2013年1月17日（木） 16:00-19:00

場所：金沢工業大学 扇が丘キャンパス（21号館5階502室）

参加費：無料

参加方法：資料準備の都合上、下記までご連絡ください。

（世話役：土田…tsuchida(*)neptune.kanazawa-it.ac.jp (*)を@に）

趣旨：

庭園は古くから作られ、今も多くの人々がそこに憩いを感じている。「作庭記」をはじめとして庭園の作り方を記した書物は多くあるが、五感についての明示的な記述は少ない。しかし、名園と呼ばれる庭園を見ると音環境として実に心地よいものが多い。これは、作庭時に音が暗黙知として扱われていたことを示しているのではなかろうか。そのためには「現状の音を調べること」、「書物に記された音の記述を調べること（耳の証人）」の他に、現状の環境状態から音を復元的に考察する「音の考古学」とでも呼べるような思考が必要である。

日本サウンドスケープ協会に設置された庭園サウンドスケープ WG（代表：曾和）では、庭園文化における音の位置づけや、音を取り扱う技術について調査する。また、その成果を情報発信することを目的としている。2011年9月には、日中共同の庭園サウンドスケープ国際WSを開催し、中国・華南理工大学との研究交流を開始した。また2012年度は、本協会研究発表会で研究成果を複数報告した。現在、京都・金沢における文化財庭園を主とした庭園に対するサウンドスケープ調査へと拡大し、我が国の庭園文化におけるサウンドスケープの意味や実像について、さらなる明確化を目指している。本研究会は、その経過の一部を報告し、今後の調査・研究を展望するものである。

内容：

・話題提供

- (1) 中国・蘇州の庭園～雨の音風景を楽しむ…曾和治好（京都造形芸術大学）
- (2) 大名庭園と武家・庶民の庭園～石川県内の庭園から…土田義郎（金沢工業大学）
- (3) 兼六園・翠滝の音風景（仮題）…栗山伴芳（京都造形芸術大学）

・庭談

話題提供者三名による鼎談を行う。話題提供した庭園以外にも庭園は多くある。對龍山荘や無鄰菴、詩仙堂、大覚寺・名古屋（なこそ）の滝など京都の様々な庭園も取り上げる。いろいろな庭園とその織り成す音風景についてフロアも交えて、庭園の音風景をどのように解明するかの足がかりが得られるような議論を繰り広げたい。